

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 28 日

高崎市長 富岡 賢治 様

提出者

住 所 高崎市矢中町 3 1 9 - 6

氏 名 カワナベ工業株式会社

代表者名 代表取締役 川鍋 太志

電話番号 027-352-9190

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称

高崎市内の現場

事業場の所在地

高崎市内一円

計画期間

令和⁶~~5~~年4月1日 から 令和⁷~~6~~年3月31日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類

06 総合建設業

② 事業の規模

元請令和5年度実績 1, 273, 500, 000円

③ 従業員数

46名

④ 産業廃棄物の一連
の処理の工程

別紙

(日本産業規格



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者
環境土木部長

- ・産業廃棄物の処理に関する各事項の決定、承認。
- ・産業廃棄物の処理方針の策定。

産業廃棄物管理責任者
環境土木部 担当

- ・監督庁への各種報告書、計画書の作成、提出。
- ・社員、関係会社に対する教育、啓発。
- ・その他関係する事項。

産業廃棄物管理担当者
各 現場所長

- ・業者の選定、委託契約書の作成。
- ・マニフェスト等の交付、管理。
- ・廃棄物の分別の実施。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類（アスカラ）	がれき類（コンガラ）
排 出 量	965.34 t	1177.79 t

(これまでに実施した取組)

公共事業であるため抑制は困難なため、分別リサイクルに努める。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類（アスカラ）	がれき類（コンガラ）
排 出 量	1000.00 t	1200.00 t

(今後実施する予定の取組)

上記事項の継続。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
他の廃棄物と混ざらないよう、徹底した分別。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
上記事項の継続。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物
	排出量	1.00 t	26.20 t
	(これまでに実施した取組)		
	公共事業であるため抑制は困難なため、分別リサイクルに努める。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物
	排出量	5.00 t	30.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	上記事項の継続。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物と混ざらないよう、徹底した分別。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物の出来る限りの分別実施。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック
	排出量	4.796 t	25.52 t
	（これまでに実施した取組）		
	公共事業であるため抑制は困難なため、分別リサイクルに努める。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック
	排出量	5.00 t	30.00 t
	（今後実施する予定の取組）		
	上記事項の継続。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 他の廃棄物と混ざらないよう、徹底した分別。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物の出来る限りの分別実施。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃油
	排出量	1700.20 t	0.25 t
	（これまでに実施した取組） 公共事業であるため抑制は困難なため、分別リサイクルに努める。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃油
	排出量	1800.00 t	0.50 t
	（今後実施する予定の取組） 上記事項の継続。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 他の廃棄物と混ざらないよう、徹底した分別。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物の出来る限りの分別実施。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	木くず
	排出量	89.44 t	31.205 t
	(これまでに実施した取組)		
	公共事業であるため抑制は困難なため、分別リサイクルに努める。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	木くず
	排出量	100.00 t	50.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	上記事項の継続。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物と混ざらないよう、徹底した分別。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物の出来る限りの分別実施。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	紙くず
	排 出 量	2.55 t	1.377 t
	（これまでに実施した取組） 公共事業であるため抑制は困難なため、分別リサイクルに努める。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	紙くず
	排 出 量	5.00 t	2.00 t
	（今後実施する予定の取組） 上記事項の継続。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 他の廃棄物と混ざらないよう、徹底した分別。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物の出来る限りの分別実施。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（アスカラ）	がれき類（コンガラ）
	全処理委託量	965.34 t	1177.79 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	965.34 t	1177.79 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 引き続き、再生できる廃棄物に関しては分別し、適正な処理施設において委託契約し、処理を行う		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（アスカラ）	がれき類（コンガラ）
	全処理委託量	1000.00 t	1200.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1000.00 t	1200.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 上記の継続実施。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物
	全処理委託量	1.00 t	26.20 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 引き続き、再生できる廃棄物に関しては分別し、適正な処理施設において委託契約し、処理を行う		
	②計画	【目標】	
産業廃棄物の種類		汚泥	混合廃棄物
全処理委託量		5.00 t	30.00 t
優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
再生利用業者への 処理委託量		0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t
（今後実施する予定の取組） 上記の継続実施。			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック
	全処理委託量	4.796 t	25.52 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	4.796 t	25.52 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	引き続き、再生できる廃棄物に関しては分別し、適正な処理施設において委託契約し、処理を行う		
	②計画	【目標】	
産業廃棄物の種類		金属くず	廃プラスチック
全処理委託量		5.00 t	30.00 t
優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
再生利用業者への 処理委託量		5.00 t	30.00 t
認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t
(今後実施する予定の取組)			
上記の継続実施。			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	廃油
	全処理委託量	1700.20 t	0.25 t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量	1700.20 t	0.25 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	引き続き、再生できる廃棄物に関しては分別し、適正な処理施設において委託契約し、処理を行う		
	②計画	【目標】	
産業廃棄物の種類		その他がれき類	廃油
全処理委託量		1800.00 t	0.50 t
優良認定処理業者への処理委託量		t	t
再生利用業者への処理委託量		1800.00 t	0.50 t
認定熱回収業者への処理委託量		t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
(今後実施する予定の取組)			
上記の継続実施。			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	木くず
	全処理委託量	89.44 t	31.205 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	89.44 t	31.205 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	引き続き、再生できる廃棄物に関しては分別し、適正な処理施設において委託契約し、処理を行う		
	②計画	【目標】	
産業廃棄物の種類		ガラス・陶磁器くず	木くず
全処理委託量		100.00 t	50.00 t
優良認定処理業者への処理委託量		t	t
再生利用業者への処理委託量		100.00 t	50.00 t
認定熱回収業者への処理委託量		t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
(今後実施する予定の取組)			
上記の継続実施。			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

② 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	紙くず
	全処理委託量	2.55 t	1.377 t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t
	再生利用業者への 処理委託量	2.55 t	1.377 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	引き続き、再生できる廃棄物に関しては分別し、適正な処理施設において委託契約し、処理を行う		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	紙くず
	全処理委託量	5.00 t	2.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	5.00 t	2.00 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	上記の継続実施。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成してください。
- 2 当該年度の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入してください。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含みます。）を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 ※欄は記入しないでください。

目標値合計：4227.50 t

産業廃棄物の一連の処理の工程

